



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.9
平成30年12月25日

感謝

校長 竹内 康裕

子供の成長を祝う行事はたくさんあります。お宮参りにお食い初め、初正月の後には初節句、初誕生でようやく一年が経ちます。華やかな七五三は毎年全国のニュースに取り上げられます。昔は「七歳までは神のうち」と言われたそうです。子どもは神様のように神聖で大切なものである、という意味かと思いきや、七歳頃までの当時の死亡率が非常に高く、人数として数えられないことからそう言われていたそうです。大昔は医療や公衆衛生が未発達なうえに疫病が流行し、また、貧困による栄養不足なども重なり、正確な統計はありませんが江戸時代でも半分以上の子供たちが十歳を迎えられませんでした。お宮参りに始まる数々のお祝いは、ここまで無事に育ってくれたことに対する感謝とこれからも健康に育ちますようにという当時の切実な願いが込められていました。たまたまこの国のこの時代に生きている私たちはなんと幸せなことでしょうか。

今、私たちは毎朝ご飯を食べ、通学・通勤を繰り返しています。蛇口からは安全な水が出てくるし、そのまま飲めます。下水道も完備し、衛生面でも質は極めて高い状態にあります。これが当たり前になっています。平均寿命も延びました。街を普通に歩けることがどれだけ大切でありがたいことか、紛争地帯や困窮地域で暮らさざるを得ない人たちのことを想うと、この国のしかも今という時代に生まれた運や縁に感謝せずにはいられません。それなのに大切な「毎日の当たり前」に慣れすぎてしまって、時にあれが欲しい、誰々が羨ましい、もっと良くなれないか、面倒だなど、感謝を忘れてしまう不届きな自分の未熟さを恥ずかしく思います。

格言に「必要は発明の母」とあるように、「より良く暮らしたい」という「欲」や向上心は人の成長や人類の発展に必要です。「欲」は生きていくためには必要で大切な力でもあります。石器や火の使用に始まり今日のITに至るまで、文明や技術の発展はそういった人間の「欲」や向上心・探究心によるものです。一方では醜いもの、もう一方では向上心、「欲」には両面があるようです。進化と共に知能が発達し続け、思考力や繊細な感情まで与えられた私たちは、その両方をしっかりと意識し、自らを戒める気持ちを持ち、両者を調和させながら、物心両面でのさらなる成長・発展を目指すべきだと思います。

今年の元旦の誓いから三百六十五日、当たり前のようにまた新しい年がやってきます。大きな節目を前に今年を振り返ります。一うまくいったことの原因や失敗したことの原因から、今後の工夫を考える。周りの人の暖かい気持ちや心遣いを思い出し、その人に静かに感謝をする。直接・間接を問わずお世話になったたくさんの方々の顔を思い浮かべ、静かに頭を下げる。「吾唯知足」(われただ 足るを知る)。今ここに自分がいられることに幸せを感じ、謙虚、利他の心で日々の最善を誓う。一そのような気持ちで新しい年を迎え、いつまでもそれを続けられますように。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間大変お世話になりました。新しい年も引き続きよろしくお願いたします。

■□ 第24回 府中市 小・中学生の人権作文発表会 ■□

12月2日(日)に、府中の森芸術劇場ふるさとホールにおいて、「府中市小・中学生の人権作文発表会」が行われました。3年生の山本晴菜さんは、障害者施設でのボランティア体験の中でそこで出会った人たちの笑顔や「障害があることも個性の一つだよ」という言葉に感動したこと、そして「個性」という考え方をもっと多くの人たちに伝え、差別のない社会にするために、一つずつできることをやっていきたいと堂々と発表していました。



■□ 「税についての作文」 ■□



12月10日(月)に、府中市役所北庁舎において、「税についての作文表彰式」が行われました。

3年生の杉田京さんが、府中市長賞および東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞に選ばれ表彰されるとともに、受賞者18名の代表作品として朗読しました。「身近な税金」という題名で税金は自分の身近なところで使われていて恩恵を受けているということ、国民全員が税金という「輪」で支えあっていることなどを発表しました。

当日の発表はありませんでしたが、他にも5名が優良賞に選ばれています。1-1 浅野 諒くん、1-2 塚田 怜佳さん、2-1 吉田 光希さん、2-3 鈴木 みづきさん、3-1 大池 花菜さん

んです。

■□ 俳句大会 ■□

俳人小林一茶をたたえて催した炎天寺一茶まつり全国小中学生俳句大会で1-2 市川 潤さんの俳句が入選しました。今年は国内43都道府県と海外の小中学生86,553人(小学生の部53,874人、中学生の部32,679人)の応募がありました。



「息とめてプールの中で顔合わせ」

■□ 「おもてなしの心」 ■□

12月3日(月)に、オリンピック・パラリンピック教育として講演会「グローバルマナーとおもてなしの心」を開催しました。講師に元日本航空先任客室乗務員、現在は筑波大学・大学院 客員教授、グローバルマナーズプリングス代表の江上いずみ先生をお迎えしました。

おもてなしとは、「心を以って行為を為す」という言葉から、相手に喜んでもらうために心を尽くすこと、また、「表なし」という意味もあり、表裏がなく真心を込めて行動するということです。そして、おもてなしは第一印象がとても大切でもあり、第一印象が決まる時間は目から入ってくる情報で3~5秒ということです。十中生が心がけているあいさつの大切さを改めて感じました。実践を交えながらの90分間のお話は、とても興味深いものばかりでした。おもてなしの心を普段の生活や面接など、これからの人生に役立てていってほしいです。



■□ 作品展示会 ■□

12月3日（土）から14日（金）まで、教育相談期間に併せて作品展示会を行いました。2週間で200名以上の保護者の皆様にご鑑賞いただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

各教科や総合の時間の様々な調べ学習は、アイデアや工夫がされていて楽しく新たなことを知ることができました。どの作品も日頃の努力や成果が見られる素晴らしいものでした。



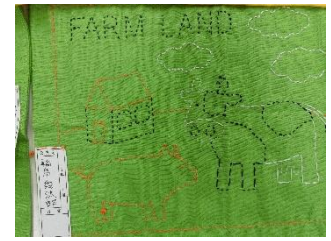
《1年毛筆書写》



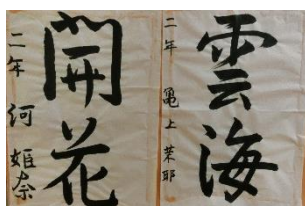
《身近な植物の観察》



《1年絵文字》



《刺し子のランチマット》



《2年毛筆書写》



《身近な動物の観察》



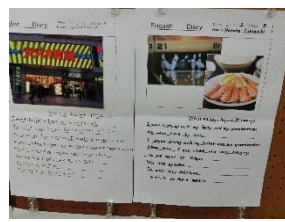
《2年絵文字》



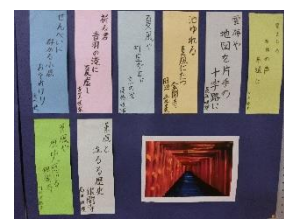
《ティッシュBOXカバー》



《LED あんどん》



《英文日記》



《俳句》



《自然災害》



《絵本》



《室内透視図》



《修学旅行》



《九州地方調べ》



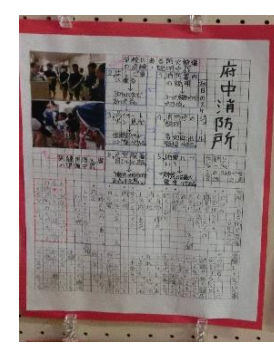
《東京校外学習》



《進路学習》



《鎌倉校外学習》



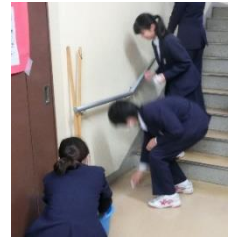
《職場体験》

”きれいな学校” 十中

■□校内清掃（生徒会主催）■□



11月29日（木）に生徒会主催による校内清掃ボランティア活動がありました。生徒会長の松橋 愛さんからお礼の言葉です。「今年は212人も生徒が参加してくださいました。生徒会主催でまとめることは、非常に難しかったのですが、大成功で終わることができました。良い経験となりました。参加してくださいました皆さん、本当にありがとうございました。」



■□大掃除■□



12月21日（金）大掃除では、1年間の汚れを落とし隅から隅までとてもきれいに掃除をしました。

日本で大掃除が始まったのは平安時代だそうです。大掃除は一年の煤（すす）を払い、「その年の厄や穢（けが）れを払う」という意味を持ち、お正月の神様を迎える準備をするという宮中の行事でした。十中も気持ちよく新しい年を迎えられそうです。



■□ ペットボトルキャップ ■□ と ■□ ふくの輪プロジェクト ■□

多くのご家庭にご協力いただいたペットボトルキャップとふくの輪プロジェクトの古着の回収がありました。ペットボトルキャップは、リサイクル原料として利用され、その収益から UNICEF や NPO 法人を通じて世界の子供たちへワクチンが届けられます。古着の売却された利益は、パラスポーツ団体に寄付されます。ご協力ありがとうございました。



ペットボトル数量：125.00Kg
個数：53,750個
ワクチン：62.5人分
*Co2削減量：393.8Kg

*Co2削減量は、今回のキャップをごみとして焼却した場合のCo2の発生量です。
(キャップ1Kgで約3.15gが発生します。)

〈交通事故防止へのご協力〉

府中市内で横断歩道を渡っていた児童が右折してきた自動車にはねられ、死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。ご冥福をお祈りするとともに、心よりお悔み申し上げます。

- ① アイコンタクトをする。
- ② 手を挙げて『渡ります』という意思を伝える。
- ③ 車が止まったことを確認してから横断する。
- ④ 渡っている間も車が来ていないか左右を確認する。

子供たちを交通事故から守るためには繰り返し留意事項を伝え、大人も十分に安全を意識していかなければなりません。交通事故防止へのご協力をよろしくお願いいたします。

〈年末年始のお知らせ〉

12月28日（金）～1月6日（日）の期間は祝日や休業日として、教職員が不在となります。お問い合わせ等はこの期間以外にお願いします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

— よいお年をお迎えください。 —

